

科目番号	25-6959	科目群	演習				
授業名	演習（民法）						
副題	医事法の現代的課題						
担当教員	米村 滋人						
種別	選択	単位数	2	年次	2・3	学期	A Semester
他専攻等との合併	総合法政・法学部						
<p>演習の目的・ねらい・進め方</p> <p>医事法は、医療や医学研究に関する法律問題を扱う法分野である。従来から存在した医療過誤・薬害等の類型に加え、近時では特殊医療や医学研究に対しても法規制が強化されている。これらの問題は法学部・法科大学院の講義で扱われないことも多いが、医事法の問題は医学や医療政策等の知識が必要である上に、法的にも憲法・行政法・民刑事法など分野横断的な検討が必要となり、独学での学習は相当に困難である。本演習では、医療・医学研究の分野で現在発生している法律問題の概要を知ると同時に、それぞれの問題につき、法律の知識や技法を用いてどのような解決を導きうるかにつき検討することを目的とする。</p>							
履修上の注意							
<p>授業の構成</p> <p>以下の事項を取り上げる予定である。</p> <p>I 医療行政法（医療従事者の規制、医療機関の規制、医療制度等）</p> <p>II 一般医療行為法（医療契約、医療過誤の民刑事責任）</p> <p>III 特殊医療行為法（終末期医療、生殖補助医療、移植医療、精神医療、再生医療等）</p> <p>IV ヒト組織・ヒト胚・死体等の法律関係</p> <p>V 医薬品・医療機器の規制</p> <p>VI 医学研究規制（インフォームド・コンセント、倫理審査、個人情報保護、臨床研究規制、ゲノム研究規制）</p>							
教科書等	可能であれば、米村滋人『医事法講義』（日本評論社、2016）を一読の上参加することが望ましい。その他の参考書等は、初回授業の際に紹介する。					使用言語	日本語
成績評価の方法	<p>筆記試験は行わない。</p> <p>平常点を考慮する（30%）。</p> <p>レポートを課す。</p> <p>成績をA+・A・B・C+・C-（2011年度以前の入学者はC）・Fで評価する</p>						
開講年度（予定）							
特記事項	<p>本演習は、毎回30分から1時間程度延長する可能性がある。</p> <p>本演習は、大学院（法曹養成専攻）、大学院（総合法政専攻）、法学部の合併科目として開講する。</p>						